

「ネットビジネス」という世界を知った、あの頃。

最近、自分の情報発信について考えることがあります。

大学二年生の頃から始めた情報発信ですが、
今まで、通信講座という形でコミュニティを作ることもしてきて、
勉強会という形で、実際に発信を見てくれている方とお会いする機会も作ってきて、
ネットから沢山の繋がりが生まれてきたことに、とても感謝しています。

そんな中で、
「自分が本当にやりたいことは何だろう？」
「この情報発信に対してのプロ意識があるのか？」
「将来的に、この情報発信をどうしていきたいんだろう？」
そんなことを考えるようになりました。

今までも考えていなかったわけではないですが、
今まで以上に、真剣に、現実的に考えるようになりました。

この先、この情報発信は、
自分の人生は、どこに向かうんだろう。
どこに向かっていきたいと、自分は思っているんだろう。

まあ要するに、自分と対話しているということです。

自分と自分が向き合って、
自分に質問して自分が答える、
という人生相談、面談をしている感覚で。

・・・そう考えて出てきたのが

「どうして情報発信を始めたのか？」

ということでした。

当然と言えば当然ですが、
動機とか目的のところですね。

そのことを改めて、お話ししていきたいと思います。
この情報発信がどこに向かっていて、何を狙っているのかも含めて。

あと、最後に一つオファーがあります。

この話は、前編後編という感じで、
二回に分けて書いていこうと思うので、
最後のオファーまで読んでいただけたらと思います。

さて、僕が情報発信を始めたきっかけ、
そもそも情報発信というものを知ったきっかけは、
Youtube を見ていた時に、「ネットビジネス」という世界を知ったことでした。

ネットでビジネスをする、という世界です。

その頃、大学二年生でしたが、
そもそも「ビジネス」って言葉すら知らなかったし、
スマホを持っていたけど、ゲームをするか NBA を見るかの使い方しかしてなかったんで、
「ネットビジネス」なんて、当然、初耳でした。

「ビジネスって何？ビジネスマンって、スーツを着てる人のことでしょ？」

そんな風に思っていました。

スーツを着てる人をビジネスマンと考えてるくらいなので、
「ビジネス」という言葉が、本当にぼんやりとしていたんです。

で、Youtube でたまたま出てきたのが
「月収 700 万円を稼ぐ 23 歳の起業家です」

というようなタイトルの動画でした。

なかなかのインパクトですよ。

いや、普通の感覚だったら、
「何言ってんだこいつ」で終わると思います。

ただ、この時の僕は、
なぜか、その動画に興味を湧いて、
とりあえず、クリックを試みることにしました。

当然、半分嘘だろうと思いつつ、
もし本当だったらすごいと思いつつ。

で、話を聞いてみると、
その人は大学生の時に起業したということです。

え、自分も大学生だぞ。

と、今の自分の状況と比べた時、
信じられないことがまた一つ増えました。

起業家という言葉は知っているけど、
起業って何かなんて全然わからないし、
そもそも、月に数百万円を稼いでいる人がいること、
しかも、それがネットだけで稼いでいるということを

普通に大学生活を送っていた僕が信じられるわけありません。

僕はその時の気持ちを正直に教えますね。

「え、そんだけお金あったら毎日バスケし放題じゃん」

その人の主張はこうでした。

「ネットビジネスは自由だ」

「お金も、時間も、精神的にも自由だ」

「自分の好きなことを、好きな時に、好きなだけできる」

こんなことを言葉にするのは、
今まで、バスケの話をしてきて、
しかも、教育の話とかをしてきた僕を知る皆さんからしたら、
「え、そんな理由で情報発信始めたんかい。見損なったわ」
と言われて、この場でページを閉じてしまうかもしれませんね。

もちろん、今まで僕が発信してきたことに嘘はありません。

バスケのことも、教育のことも、
記事やメルマガ、動画にしてきたこと全ては、
その時の僕が考えていたこと、思っていること、目指していること、学んでいること、
その時の僕を表しているものなのは間違いありません。

ただ、僕が情報発信を知ったきっかけは、
そういった「ネットビジネス」であったんです。

これも事実です。

大学二年生の僕は、とにかく部活に時間を使っていました。

教育学部に進学したのですが、
教師になりたい！という情熱をもった友達とは違い、
「特にやりたいこともないけど、教師が向いてると思うって周りに言われること多かったし、部活
を見れるから教師がいいかなあ」
というくらいのぼんやりとした理由で、教育学部を選んでいたので、
大学の勉強も、これといって情熱をもってやっていたわけではありませんでした。

こんなことを言うと、今、受験をがんばっている学生に対して失礼かとも思いますが、実際、僕にとって教育学部を選んだことは、そんなぼんやりとした理由だったんです。

だから、大学生活は目的のないものでした。

目的も目標もなく、
将来のビジョンもなく、
ただ、好きなバスケだけをする。

将来のことを考えても、
自分が何をしたいのかがわからなかったので、
そこから逃げるように、いわゆる、現実逃避ってやつですね、
バスケをしていました。

バスケをしていたら、余計なことを考えなくていいから楽だったんです。
勉強、将来のこと、自分がやりたいこと、仕事やお金のこと、自分の人生について。

そんな時に、知ったのが情報発信だったわけです。

そりゃーそんな生活をしていたんだから、
「ネットだけでお金を稼げます。しかも、大金を少ない時間で」
という人がいると知ったら、興味が湧いてしまうもの。

今でこそ、そういった発信を見たら、
「あ、これは自分には必要ない発信だな」って瞬間的に気づくし、
その人がたとえ、すごく社会の役に立つお金の稼ぎ方をしていたとしても、
そういった形で発信をしている時点で、その人から学ぼうとは思いません。

たとえ、本当に誰でも簡単に稼げるという方法があったとしても。
(もちろん、そんなものがないということも今では知っているのですが。)

ただ、この頃の僕は興味がありました。

お金というものが何か。
ビジネスってものが何か。
ネットでお金を稼ぐってどういうことか。

そういったことを何一つ知らなかったからです。

何一つ、今までの人生で、
学校で学んだことがありませんでした。

普通に生活をしていたら、学べる人の方が少ないはずですよ。
学校という場所では、なかなかそういったことを教師の方が教えたくても、
教えられないという現実があることも、教師の友達がいるので僕は知っているつもりです。

だから、僕は学ぶことにしたんです。

情報発信というものを。
ネットでビジネスをするということを。

この頃、僕は、
「何か面白いことないかなあ」
と、ボーっと過ごすことも多くて、
暇あれば、大学の生協で購入したパソコンを開いて、
とりあえず Youtube を開いて NBA を見ていました。

で、とりあえずテレビを見て過ごす。

なかなかのグダグダ生活だったので、
「ああ、何かを変えないといけないんだろうけど、何を変えたらいいんだろう。
バスケットは楽しいんだけど、将来もバスケットをしていけるかなんてわからないし。面白いことないかなあ」
と思いながら、とりあえず海外に行きたいなとか思ってもいました。

「とりあえず海外に行きたい」
これは現実逃避の典型的な例です。

海外に行けば何か変わるだろう。

と思って行っても変わりません。

結局、どんなに環境を変えたとしても、
目的がないと何も変わらないし、変われるかどうかは全て自分次第。

「とりあえず海外に行きたい」
ってというのは、とりあえず新しいことをすれば、
環境を変えたら、自分も変われるだろう的な甘い考えで、
今の自分、今の環境、今日の前にいる人の中に、
自分が本当のやるべきことややりたいことがあることに気づけていないから、
「海外に行きたい」って思っちゃうんですね。

自分には何もない、日常がつまらない。
と思えるのは、自分がそういう人間だから。

・・・というのは、今になって気づけることで、

この頃の僕は、直接的な表現をするなら、
「ネットでお金を稼いで、好きな時に海外に行って、現地の人たちとバスケができれば楽しいだろうなあ」
という風に思っていました。

ようするに、この頃の僕が
情報発信をする、ネットでお金を稼ぐ目的は、
「現実逃避をするために海外でバスケをすること」
だったわけです。

こうやって振り返ると、そういうことになります。
うん、言葉にするとなかなかやばい状況だったなと自分でも思いますね。

そんな流れで、ネットビジネスを学び始めました。

ビジネスって何か。
ネットでお金を稼ぐって何か。
日本の教育ってどういうものなのか。

そういった色々なことを学びました。

それからは、その最初に知った発信者以外の人の発信もたくさん見るようになって、
ネットでお金を稼いでいる、「ネットビジネス」をしている人のメルマガや動画を見漁りました。

NBA の動画を見る以外で、
こんなに勉強をしたのは初めてでした。
とにかく、学ぶことが楽しかったんです。

ビジネスについて学ぶということは、
世の中の仕組みを学び、自分を知ることに関がりました。

それまで、お金というものを学んだことがなかったので、
今の自分がどういう循環の中にいて、お金がどうやって循環していて、
社会がどのような価値と価値の交換をしているのか、どこに価値が生まれているのか。
…そういったことを勉強しました。

今まで自分がなんとなく見ていた日常を
「価値」という基準で見えるようになったら、
目に入るものの全てが教科書に変わったような感覚で、

ほんと、バスケ以外であれだけ学ぶことに熱中したのは初めてでしたね。

それがテストの点数に関がることは全くなかったわけですが、
今まで勉強してきたどの教科よりも、自分の人生に直結すると感じていました。

将来の自分の人生に。

そして、ビジネスというものの、
価値と価値の交換をしようと考えた時、
「自分の価値って何なんだろう？」
ということを今度は考えるようになったわけです。

ネットビジネスという世界を知った僕は、お金をネットで稼げれば自由になれると思っていました。

じゃあ、お金を稼ぐためにはどうしたらいいのか？

お金とは価値を数値化したもので、
「この人の活動は応援したい」という投票券でもあり、
「このお金とあれを交換しよう」という世界共通の交換券でもある。

そんなことを学んだので、
自分の価値をまず探すようになったのですが、
その最初にネットビジネスを知った月収〇〇〇円を稼ぐ 23 歳という、
いわゆるネットビジネス感ギラギラの人は、こんな感じだったんです。

「今の学校教育はダメなところばかりだ。お金についても人生についても教えない。起業なんて当然教えるわけもない。だから、この場で学ぶ必要があるんだ。学校なんて必要なくなる時代が来るし、今だって大して必要なわけではない。それよりもネットビジネスだ」

これを聞いていた頃、
僕は「そうなんだなあ」と、
そのまま素直に受け取っていました。

確かに、それらは一理あると思います。

実際に、自分はネットを通して、
学校では教わらないことを学んでいたのも、
ネットだからこそできることがあるし、
学校では教えられないこともあるんだろうなと。

今の自分があるのは、その人の発信があったからなのは確実なので、
きっかけを与えてくれたという点では感謝しています。

ただ、その頃からなんとなく、
「これで本当にいいのかなあ？」
っていう違和感みたいなものを感じていました。

だって、その人は何かを否定することでしか、

自分の主張を伝えていないように思ったからです。

日本の学校はダメだ。

就職よりもネットビジネスだ。

ネットビジネスさえすれば人生は成功するんだ。

そんな感じの発信だったんです。

僕は普通の大学生で、

普通のバスケットマンだったので、

普通に受験も経験して、普通に大学でも授業を受けて、

普通に部活でバスケをしていました。

まあ普通って言葉は「常識」みたいに、

その人の物差しで測った言葉であるので、

あまり使いたくないというか、あまり意味をなさないと思うんですけど、

ただ、僕はそういう特にこれといって目立つものがあってもなかったし、

いわゆる、普通に学校に行って普通に部活をするという生活をしていたので、

そのネットビジネスを強調する発信に違和感があったんです。

だって、僕は学校の部活が楽しかったし、大学でも部活をしていたから。

「え、今までの部活が無駄だったのか？」

「確かに、授業はつまらないことも多いけど、じゃあ大学に行く必要ないのか？」

とかを考えると、モヤモヤしていました。

ネットビジネスって世界は面白そうだ。

でも、楽しい部活を辞めた方がいいのか。

学校って行かない方かな。

いや、そんなこと、進学させてくれた親に言えるわけないよな。部活の時もいつも応援してくれたんだから。

・・・と。

なんとなく、

あの Youtube 動画を見た時、

「たぶん、この動画をクリックするかで人生が変わるよーな気がする」

と感じてました。

バスケットボールにのみ 100%エネルギーを注いでいた自分が、
たぶん、この動画をクリックしたら別の道を知ることになるんだろうなと。

そして、学んでみると、
確かに、この世界を知ると知らないのとでは、
自分の人生は大きく変わっていたと思えていました。
それは今、ここまで話してきた通りです。

僕は何も社会や人生について何も知らなかったし、知ろうとしていなかったから。

「人生が大きく変わる」
というのは感じていましたが、
感じてはいたのですが、

それが、はたして、
「良い人生に変わろうとしているのか」
はたまた、
「やばい人生に変わろうとしているのか」
どっちなんだろう。

そんな気持ちがありました。

ネットビジネスという世界を知ること、
学校の価値とか社会でお金がどう循環してるかとか、
自分の人生とか、これからの時代の変化とか、自分の価値とか、勉強とか、
いろいろなことが学べました。

でも、そのことで、
今一生懸命やっている部活を楽しめなくなったり、
学校に行く意味を見失ったり、
もしかしたら友達を失うかもしれない。

それでも、これはやりたいことなんだろうか。
そうまでしても、これはやっていくべきことなんだろうか。

本当に人生は良い方向に進んでいるんだろうか。

・・・この頃の僕はわかりませんでした。

だから、迷っていたし、
情報発信に 100%向き合っていたか？
という、そうではなかったなと思います。

なんとなく、「怪しいことをしている」感覚があって、
勉強していることを誰にも言いたくない感覚がありました。

実際、この頃、
まだまだネット発達してなかったし、
ネットでビジネスをするなんて人は少なかったし、
ましては、大学生がやっているなんて言ったところで、
「いや、お前、やばいやつにひっかかっているんじゃない？笑」
と言われていたと思います。

そんな違和感を抱えながら、ひっそりとネットビジネスという世界を学んでいました。
本当にひっそりと。誰にも知られることなく。

この頃、僕は「自分の価値」を
「ネットビジネスを知っていること」
だと思っていました。

周りの大学生は知らないだろうな。
自分も今まで学んできたことがなかったことだし、
これを学んでいくと、社会の仕組みだったり、お金についてだったり、人生についてだったり、
いろいろなことが学べるから、この世界を教えていくことには価値があるだろうな。

そう思っていました。

それはあながち間違っていないけど、
というか、実際にそれを仕事にしている人もたくさんいるし、

今の自分があるのは、そういった人たちがいるからだから、
それも一つの仕事として素晴らしいものだと思っています。
もちろん、きちんと人のために、世の中のために伝えているのであれば。

ただ、この頃の僕はそれを発信するのを躊躇していました。

なぜなら、それが本当に自分自身の価値かわからなかったから。
そして、おそらく、それはその時の自分がやるべきことではなかったから。

たぶん、それが本当に、
その時の自分がやるべきこと、
自分の価値だと確信を持てていたら、
迷わずやっていたと思いますが、そうしていなかったということは、
そういうことなんだと思います。

そもそも違和感があったのは、
「ビジネスを教えることでお金を稼ぐビジネス」
って、本当に価値を生み出しているのか？ということ。

自分の価値って、自分にしかできないことのはず。

じゃあ、これは違うか。
そうだったら、迷うこともないし、
自信をもって発信していけるはずだから。

そう思いながら、
「とにかく勉強はし続けないと」
と、ひたすらネットビジネスの世界を学びまくりました。
とにかく無料メルマガに登録しまくって、20人分くらいのメルマガを読んでいた。

そして、ようやく、今のこの情報発信に繋がる言葉と出会いました。

「インターネットビジネスの世界を 大学などの教育機関に代わる新しい教育システムにする事」

このことを目指している情報発信者がいたんです。

その人は、ネットを使って、
ビジネスを教えたり、英語を教えたり、歴史を教えたりと、
学校に通っているような感覚で勉強できる場を創っていました。

僕は、この言葉を聞いたとき、
「あ、それだ」と直感で思いました。

僕が今まで学んでいた「ネットビジネス」という世界は、
ギラギラしていて、何かを否定して自分の主張を強めて人を集めて商品を売り込んでお金を稼ぎ、
自由な生活、自由な人生、成功というものを見せびらかしていく…というものでしたが、
それとは全く違う「ネットビジネス」を知れたんです。

もちろん、先ほども言ったように、
最初に出会ったネットビジネスについて発信していた人がいなかったら、
今、僕は情報発信をしていないので、きっかけを与えてくれたことに感謝していますし、
その発信で人生が変わるという人もいるので、その人の発信が悪いと言いたいわけではありません。

ただ、自分の性格や価値観には、
「インターネットビジネスの世界を教育機関に変えたい」
という発信をしている人が合っていた、という話です。

その言葉を聞いたとき、
「自分がやりたいことってそれだな」
と、自分が上手く言葉にできなかったことを代弁してくれたような、
そんな感覚になりました。

なぜなら、僕はネットビジネスを知る半年くらい前に、
「NBA 選手のスパーシング」に感動して、バスケの価値観が変わっていたからです。

この面白さを伝えていきたい…！
と、心の中でずっと思っていたからです。

でも、それを伝える方法がわからなかったし、
伝えることに価値があるかもわからなかったから、
ずっと、自分の中だけにとどめていました。

そんな時に、情報発信を知れたのです。

それも、ただ何かを否定して豪勢な生活を見せびらかすだけのネットビジネスではなく、
自分が本当にやりたいことを実現するための手段として、インターネットを活用するネットビジネスを。

僕は、あの言葉と出会って、こう思いました。

「ネット上に、バスケの学校を作ろう」

(続く)

僕、プロバスケットボール選手を目指します。

えーっと、
どこから話したらいいんだろう。

今、2019年12月29日1:49です。

さっきまで、とある方と二時間半、電話をしていたんですけど、
その長い電話の内容を一言で表すなら、タイトルの通りになります。

僕、プロバスケット選手を目指します。

いきなり何言ってるんですかとか
今から本気でやるつもりなんですかとか、
え、今まで発信してたのにどうするのとか、
いろいろな意見があると思いますが、

とりあえず、今言えることはそれです。

前の記事、読んでもらえましたかね？

ブログの統計を見たところ、数十人が読んでくれてましたが、
僕が情報発信を始めたきっかけ、この情報発信が目指していることについて書いたので、
その続きということで、実はもう公開寸前の記事があったんです。

「ネット上に、バスケの学校を作る」
という目標について書いた記事が。

でも、それを公開しようかな
と思っていた瞬間、電話が鳴ったので、
電話に出たところ、記事の内容が変わりました。

この記事の内容に。

「この情報発信で目指していること」
そして、「自分が本当にやりたいこと」を記事にしていたので、

今、この記事の内容が
ようするに「プロバスケット選手になる」ということが
自分が本当にやりたいことだということです。

・・・はい。

なんでいきなりそうなった？

いやいや、今から目指すとかマジで言ってるの？

って感じですよ。

これ、話し出すと長くなるので、

明日以降に書くことになると思います。

明日、富山に行って試合をするので、今日の朝六時半に出ないといけないので。

あと、四時間半後に出発ですね。

お風呂入って、布団に入らないと。

「ネット上に、バスケの学校を作る」

そのために、この情報発信をしてきました。

…と前の記事で書きました。

それは嘘ではないし、

僕が目指している情報発信の形です。

ただ、自分が本当にやりたいこと、

自分が情熱をもってやれることは何か？

というのを、自分と向き合って考えた時、

出てきたのが、

「バスケをプレーすること」

でした。

これ、ずっと隠していたんですよ。

自分は上手くないから。
自分は情報発信者だから。
プロになれるわけなんてないし。
今から目指すとか無理だろうなあ。
自分がなれたら誰でもなれるでしょ。
とか。

色々と考えていました。

自分は情報発信者としてやるべきことがある。
…そう自分に言い聞かせていました。

こんなこと言うと、
今まで発信してきたことが嘘だったのか、
今まで情報発信で繋がったご縁が無駄だったのか、
ってことになるんですけど、もちろん、そうは思いません。

今までも本気です。
今までの全てのご縁に感謝しています。

情報発信をするのも好きです。楽しいです。

ただ、僕が本当に楽しいと思えること、
時間も空腹も忘れて没頭できることって、
やっぱり、バスケットをプレーすることなんですよ。

下手ですよ。エアースポーツもするし、ターンオーバーもする。

でも、やっぱり、
バスケットをプレーすることが好きだし、
情報発信で学んできた視点を自分で体現して、
自分のプレーで広めていくという未来を考えた時、
それが今は一番、情熱が湧いてくることだと思えました。

そして、自分がやりたいことであって、

自分が目指している人生と一致しました。

そう書いてしまっているのだから、
それも、手が止まらずにすらすらと書けているのだから、
周りの目を気にして「この文書は変えた方がいいな」とか今まではよく考えて考えて書いていた時
もある文章が
今は全く迷いなく、すらすらと書けているのだから、
それが答えなんだろうなと思う自分がいます。

たぶん、今までと文章の雰囲気が違うんじゃないかなと思います。

その電話の相手の方にも言われました。

前から関わってるスポーツトレーナーさんです。

「教育を変えるとか、情報発信通してバスケを面白くするとか、そういう言葉に対して、どのくらい本気かどうかはわかってる人はわかってるんじゃないですかね。少なくとも、今、原田さんの感情が初めて出てきてる感じがしますよ。バスケをプレーするのが楽しい、自分のプレーを通して情報発信で伝えていきたいバスケを広めていくんだって、それってめちゃめちゃ素晴らしいことじゃないですか。とりあえず、頭で考えるのは止めて、現実的にどうかとかは置いておいて、その気持ちに素直になるのが大事なんじゃないですかね？」
と。

もちろん、今までの情報発信も本気です。

嘘を書いたことはないし、今学んでいることや今取り組んでいること、
そういったことを発信してきて、コミュニティを運営してきました。
勉強会も開催してきました。

今でも、コミュニティを運営しています。

ただ、やっぱりバスケをプレーしているときに、
何をしていることよりも、情熱が出てくるんですよね。

こればかりは、もうどうしようもないことでした。

ここ最近、こう言われることが多かったんです。

身近にいる人たちから。

「原田さんは、どうしたいの？」

「自分のことをもっと出しても良いんじゃない？」

「原田さんって感情が見えない。バスケほんとに好きなんですか？って思うときがある。笑」

「結局、やるかやらないかだけなんだよな。自分が情熱を持てるものなら自然とやれるはずだよな」

「情熱って出そうと思って出るものじゃなくて、自分の志に沿ったものなら自然と出てくるものやからね」

それに対して、

「ああ、そうだよなあ。」

って思っていました。

いや、反論しないのかいって言われましたが、
自分でもそう思うので共感するしかないんですよね。

僕は指導をするのも好きです。

選手の成長、チームの成長を見るのも好きです。

情報発信だって、文字を書くのも好きでやってます。

ただ、指導をしていても、

「この子の人生と本気で向き合って、本当に良い人生を歩むための手伝いをしてあげよう」
と、心の底から思っているか、相手がなんと言おうと自分の意見をぶつけられるか
と聞かれたとき、100%の情熱をもって「はい」と即答できない自分がいました。

こう言うと、今までの何だったんだとなりそうですし、信頼を失うとも思いますが、
選手に対して向き合っていたこと、選手がやりたい道に進ませてあげること、バスケを上手くさせることは、
自分ができる範囲でやってきたつもりですし、指導に対して手を抜いていたという話ではないのは
理解していただきたいです。

ただ、全ての人生を賭けて 100%そこに向かっているか？

と聞かれたら、それはバスケをプレーしているときには負けると思います。

なぜなら、僕は指導をしてる時に、

「ああ、コートに出てプレーしたいなあ」

ってよく思うからです。

たぶん、本当に指導や教育に人生かけてる人はそうは思わなくて、目の前の選手たちを勝たせることに全神経を向けられると思います。

僕は今、プロバスケットチームで小学生にバスケットを教えています。そこでも、部活を指導している時と同じようなことを思うんですよね。

指導や教育に対して、本気の自分で向かえているか？と聞かれたら、海外に行ってバスケットを学びたいとか、子供がなんて言おうと、自分の伝えたいことを伝えたいとか、そういうことを自然とと思っているか？というと、そうとは言えません。

ただ、指導の時に最も重視してることは、「関わる人がやりたいと思うことをやらせてあげる」ということです。

ここには情熱があるなと思います。

部活でも指導でも、子供や学生が「これをしたい」といったものには「いいね、やろう」と即答します。

小学生が「試合したい！」ってよく言うので、試合をさせてます。その子たちの試合がバスケットボールになっているかと言えば、なっていないし、ドリブルとかシュートフォームとかやるべきことはあるから、もちろん、それも練習に取り入れますが、ただ、試合がしたいと言うならやらせてあげたいなと僕は思うのでやらせてます。

こう考えてみると、関わる人に対して、やりたいことをさせてあげたいと思うのは、もしかしたら、僕自身がやりたいことをやれていないからだったのかもしれない。今、この文を書きながら気づきました。

僕は誰かに何かを強制することはしません。

でも、思い返せば、
「どんなことがやりたいの？」
と聞くことはめちゃくちゃ多いです。

きっと、そういうことですよねこれは。

何度も言いますが、指導も情熱を持っています。
教えることも好きだし、成長を見るのは楽しいです。

今まで関わってきた選手たちを
見捨てるようなことはしてきていないし、
情報発信という一種の教育、指導に関してもそれは同じです。
そうじゃなければ、八年間も情報発信ができるわけありません。

関わってきてくれた人、応援してくれた人、発信を受け取ってくれた人がいるから、
今の自分、この情報発信、今の人生があると思っています。

これだけの変化を情報発信で得られたから、
「自分がやっていくべきことは、ネット上にバスケの学校を作ることなんだ」
とっていました。

そう、さっきまで思っていたが、
自分が本当にやりたいことは、バスケをプレーすることでした。

僕は、一度、プロの世界に足を踏み入れました。

大学を卒業した後、23歳の時、
プロのチームの練習に参加させてもらいました。

あの時は、
「ただ、高いレベルでプレーしたいからプロになりたい」
という気持ちで、プロを目指していたのですが、
自分の限界を感じて、情報発信でやるべきことがあると思える出来事と出会って、

そこに対して、周りの人たちと同じだけの熱量を持てていなかったことから、プロを目指す道は諦めました。

当然、実力も全く足りていませんでした。

でも、今、プロを目指したいと思えるのは、現実的にできるかどうかとか置いて話しますが、

プロを目指したいと思うのは、自分が情報発信で作りたいバスケットを自分がプレーで体現したら、僕の生き方やバスケットを見た人たちに影響を与えられて、バスケットをもっと面白くできるんじゃないかという気持ちがあるからです。

現実的にどうかは置いておいて自分が本当にやりたいことが何かを考えたところ。

23歳の時、今から五年前とは全く違う感情です。

あの頃は、プロになる意味も、バスケットボールで飯を食っていく意味もわからず、ただただ、バスケットが上手になりたいだけが理由でプロを目指していました。

でも、今は目的があります。

「お前が今からプロになれるなら、誰でもなれるだろ」
そう思う人はいると思います。

というか、みんなそう思うでしょう。

だって、僕は上手くはないし実績はないし経験もないし、本当にただのバスケット好きだし、自分でもそう思うからです。

自分でも、自分が今からプロになれば誰でもなれると思ってます。

それを証明するために、
僕はプロを目指そうと思います。

だって、僕ができたらみんなできるなら、
あとは「やるかやらないか」だけで、選択の自由
ってことですよね。

そしたら、もっと多くの人がバスケをやりきれるだろうし、
そうしたら、もっとバスケ業界は活性化していくんじゃないかなと思います。

僕は、情報発信で学んでいること、
武術を活かした動きや賢者籠球で学んでいる視点を
どのような形かはわからないけど、プレーで体現して、
それをプレーで伝えていけるような存在になりたいなと思います。

そして、その過程を情報発信していきます。

ただの普通のバスケットマンが、
沢山の遠回りをして、28 歳からプロを目指す。
武術の面白さや賢者籠球で深めている世界観を
プレーを通して多くの人に伝えるためにプレーする。

その物語を発信していきます。

僕が考えるコツや、僕が実践していること、
僕が失敗したこと、僕が成功したことなどなど。

僕がプロになれば、
今まで誰もやってきていない
「インターネットで情報発信をしていたバスケットマンがプロになる」
というストーリーができることになります。

もちろん、実力がないと誰からも声がかかるわけがありません。
僕は国体選手でもないし、全国大会に出たこともないし、目立つ選手でもないので、

僕がプロになれるなんていう保証は一つもありません。

だから、普通ならしない挑戦です。

それは僕もわかっています。

でも、自分が本当にやりたいこと、
自分が発信を見てくれている皆さんにできることは、
自分が情熱をもって継続していけることだと考えると、
やっぱり、プレーをして、プレーで発信していることを体現することだなと思います。

ちょっと、何を書いているのか理解できないかもしれませんが、
いきなりどうした？って感じかもしれませんが、
今、ちょうどさっき、そういう気持ちが自分の中で出てきて、
なぜかわからないけど、涙が自然と出てきてすらすらと文字を打てて、
迷いなく、情熱を出そうとしなくても自然と出てきて、話も止まらなかったのも、

今のこの気持ちをそのまま文字にしておこうと思います。

後から振り返ったら、自分でも、
「何言ってんだこいつ、いきなり」
ってなってる気もしますが、

素直な気持ちをここに書くと、こういうことだと思えます。今。

僕は、ここ最近、
「自分をもっと出した方がいい」
「結局、やるかやらないかだけだ」
「もっと積極的になればいいのに」
「もったいないのは自分のことじゃない？」
と言われることがたまたま多かったのも、

毎日のように、自分と向き合ってきました。

自分って何が本当にやりたいんだろう。
どんな人生を歩みたいと思っているんだろう。
自分の志ってあれだけど、それに従っているのかな。
情報発信をどうして初めて、何を目指しているんだろう。

その結果が、この文章です。

今、完全に勢いで書いているので、
これから先、どうなるかわかりません。

この記事もどうなるかわかりません。

そもそも、この話はまだ身内にしかしていないし、
ここまで詳しく書いているのは、この記事が初めてです。

なので、僕も勢いで書いてるだけで、
もちろん、お酒が入って酔ってるわけじゃないですが、
頭で考えずに身体で書いている感じなので、先のことは考えていませんが、

とりあえず、このまま投稿しようと思います。

ちゃんと計画とか考えていかないとですね。
時間は限られているので、自分と現実と、本当にやりたいことと向き合って。

今後の活動については、きちんとまとめてお話しします。

最後まで、お読みいただき、ありがとうございました。

「ネット上に、バスケの学校を作る」

「ネット上に、バスケの学校を作ろう」

そう思ってから、僕は情報発信を始めました。

その時、僕は、

「自分の価値って何なんだろう？」

と、自分が発信する内容を考えていました。

そんな時、読んでいたメルマガの中で、

「過去の自分に対して、一番伝えたいことを発信すれば、それはビジネスになる」
ということを学んで、

そこで真っ先に閃いたのが「NBA で凄いのはダンクだけじゃない」でした。

そこから、Twitter を始めて、

過去の自分に話しかけるような気持ち、で

自分が学んできたこと、自分の視点を通して NBA を解説してみたり、

Twitter の内容をより深くまとめるためにブログを始めてみたり、

ブログだけだと知識を体系化させたり、意見交換をすることが難しかったので、
メルマガを使った講座を始めてみたりと、いろいろなことをしてきました。

その全ては、

「ネット上に、バスケの学校を作る」

ということで繋がっています。

ただ、

繋がってはいたものの、

それを具体的に実現するために、

そこに対してのプロ意識をもってやっていたか？

というと、今思えば足りなかったなと思う気持ちがあります。

プロ意識というのは、ようするに、
遊びではなくて、仕事として向き合っていたか、ということです。

遊びが仕事になる。仕事遊びになる。
そんな言葉が現代は使われたりしますし、
仕事だからって固く重たくする必要はなくて、
楽しんでもらえるように、自分も楽しんでいくべきなのだと思いますが、
「情報発信を自分の仕事として、人生を賭けて、本気でやれていたか？」
と聞かれたら、もちろん！と即答できない自分がいると最近考えていて思いました。

僕にとって、学校は楽しい場所でした。

小学校も、中学校も、高校も、大学も、
生活の中心だった部活はもちろん楽しかったし、
いろいろなことを教えてくれた素敵な担任の先生やバスケ部以外の友達との会話も。

ただ、学校での勉強は無駄な時間を過ごしていたと思う自分もいます。

先生の授業がつまらなかったとか、
学校が必要ないとか、そういう話じゃなくて、
ただ、自分が学ぼうとしていなかったし、
学ぶことがなんで大事なのか、
学ぶことの何が楽しいのかを知らなかったから、
無駄な時間を過ごしてしまっていたなと思います。

古典とか、今なら楽しめるだろうなと思いますからね。
高校の時は、部活のためのエネルギー補充という理由で授業が始まった瞬間に寝てましたが。

いやー、あの古典の先生とか、
あんなユニークで面白い先生いるか？
ってくらい面白い人だったんだけどなあ。

古典をあそこまで面白く教えられる先生が高校にいた時点で、
ほんとに奇跡じゃないけど、すごく貴重な環境だったんですけど、
それを全部寝て聞かなかったとか、ほんともったいないことをしたなあ。

あの先生、

「テストの点数が取れなくたっていいんだ！それよりも、古典で学んだことが人生に生きる方が大事だろう！」

っていう先生だったんですよ。

そりゃあ、もちろん受験勉強も大事ですよ。

でも、あの先生の、あの古典の授業は、
ネットで世界中の情報を検索したとしても、
本を読み漁ったとしても、あの場でしか聞けません。

本当にユーモアがあって面白い先生だったのに。

古典って、1000 年も前に生きていた人たちの文化であって、
本当にその時、そういうことを歌にしたり書物にした人がいたわけで、
その人たちが残したものを、数千年後を生きる僕らが学べるって、凄すぎますよね。

その人らが、その時代、その時に思ったことを僕らは受け取れるって、
もう、映画とか漫画の世界と同じくらい、凄いことだなって今だと思います。

それを現代に残している研究者の人たちも凄いいし、
それをちゃんと残している文化を保存する人たちっていうのかな、
そういう人たちの仕事があってこそだし、
それをテストの点数がどうこうというよりも、
人生に生きる面白い学びとして教えてくれた先生も凄い。

そんなチャンスを僕は全て捨てていました。

いやー、本当にもったいなかった。
ちゃんと聞いていたら、今頃、
たぶん、人生観が変わっていたと思います。

清少納言とか、人物の名前しか知らないレベルになるか、
どんな価値観で生きていて、どんなものを世の中に残したのかを知っているレベルになるか。

それだけで、だいぶ変わっていただろうなあと思います。

バスケが上手くなったかどうかは置いておいて、
少なくとも、あの寝ている時間よりも充実したはず。

だって、僕が
「情報発信」を知っただけで、
「NBA 選手のスペーシング」を知っただけで、
こんなに人生が変わるくらいの変化があったわけなので、

「何か一つを学ぶこと」

って、冗談抜きで、
人生を変えるきっかけになると思います。
知識を一つ知るかどうか、言葉を一つ学ぶかどうか。そのレベルの小さなことで。

そういうことも含めて、
「ネット上で、バスケの学校を作りたい」
と思うようになりました。

つまり、何が言いたいかというと、
バスケットボールの技術とか戦術とかを学べるのは前提なんですけど、
「バスケットボール」っていう枠組みだけで終わらずに、
バスケットボールを通して、学ぶ楽しさを知ってもらって、
バスケ以外の分野についても学んでいけるような学校を作りたい。
ということです。

バスケはバスケで、もちろん発信していきます。
戦術の話だったり、個人技術の話だったり、NBA の話だったり。

そういったことは前提として、
そこで「あ、勉強するって面白いんだ。こんなに世界が変わるんだ」
って気づいてもらったら、バスケ以外の分野にも興味をもって
いろいろなことを勉強するのが楽しくなるはずです。

学校の勉強って、どのくらいの人が「楽しい」って思っているんでしょうか？

たぶんですが、ほとんどの人が

9割くらいの人が「勉強＝つまらない、めんどくさい、テストのためだけにやってる」
って感じだと思います。

学生と話をしていると、だいたいみんなそういう反応です。

そこで、勉強に対してエネルギーを使える人が

受験でも良い成績を残して、進学校に進学して、いい会社に入って・・・

ってというのが道を進んでいくので、勉強を楽しめるかどうかで二極化しているのが世の中なのかもしれないんですが、

でも、今の時代、よく言われることですが、

ネットや人工知能が発達しているので社会の仕組みは変わっていて、

そういった今までの既存の流れだけでは人生が決まらない時代になってきています。

それに、この流れは今後はもっと加速していくと言われてしています。

かといって、勉強するのが意味がないのかというと、そういう話でもないわけで。

結局は、これからの時代、

どうなっていくのかというと、

「一人ひとりの個性が際立っていく時代」

なんだと思っています。

勉強するのが良いことなのか悪いことなのかはわかりません。

それは、その人が、その勉強をどうやって使うかによって変わる事なんだと思います。

ただ、一つ言えることは、

これから先、どんな時代になっても、

「学ぼうとする人と学ぼうとしない人とは、人生が大きく変わる」

ということです。

これは、これからの時代がどうなるにしても、

これまでの時代を振り返れば、変わることがない部分ですね。

結局は、学ぶか学ばないか。

そして、やるかやらないか。

当たり前のことを言ってるだけな気がします、
結局のところ、何をするにしてもそれが全てなんだと思います。

・・・というのは、僕自身へのメッセージでもあります。

僕は、ネット上にバスケの学校を作りたいと思うのは、
それは、僕が学校での時間を無駄に過ごしてきたからでもあるし、
インターネットを通して、情報発信、NBA 選手の凄さを知ったことで人生が変わったからでもあります。

今、中学生でもスマホを持っています。

でも、多くの人はゲームをしているだけで、
せっかくの時間がもったいないなあと思います。

ゲームは僕もしていたし、
最新の『大乱闘スマッシュブラザーズ』は
是非一度やってみたいなあと思うんですが、
スマホでやるのがゲームだけ、ってのはもったいなさすぎだと思います。

部活でも学校でも、学べることで、
どうしても狭いものになってしまいます。

だからこそ、インターネットです。

僕が最初に学んだ「ネットビジネス」では、
・インターネットだから自由な生活ができる
・インターネットだから嫌いな人にも会わなくていい
・インターネットだから働かなくても仕組みを動かせばお金を稼げる
そんなことが言われていましたが、

それは、ネットビジネスの一側面だけで、
僕が理想としているネットビジネスではありませんでした。

・インターネットだから普段関われない人と関われる

僕は、この特徴があるからネットで情報発信をしています。

今までも、本当にたくさんの方と知り合えました。

今一緒に活動している発信仲間も、知り合ったきっかけは
僕が運営していたネット上のコミュニティで送った一通のメールでした。

それがなかったら、死ぬまで知り合わなかったかもしれません。

今まで勉強会でお会いしたことがある方も、
インターネットを使っていなかったら知り合わなかっただろうし、
今、こうして、この文章を読んでいる皆さんもそれは同じことです。

1000 年以上前に生きていた人たちが残したものを学べる古典ってすごいですよね
って話を前にしましたが、

インターネットを使って、
瞬時に情報を相手に伝えられて、
遠く離れた人と知り合えるってことも、
清少納言からしたら宇宙人レベルで意味不明だと思います。

いや、これも古典に負けないくらい凄いことですよね。

原理とか僕はよく知りませんが、
凄いことだなって、ふと思うときがあります。

ネット上に、バスケの学校を作る。

それを具体的に考えるなら、
まず、義務教育があるように、
誰でも気軽に参加できる場を創って、

そこから、より専門的な授業を自分で選択できるようにして、
最終的には、ネットだけで完結せず、リアルで行う勉強会も開催して、
学校の教室で学ぶ授業と学校の外に出て学ぶ課外授業を同時に行っていく。

そういうものを創っていく必要があると感じています。
口だけではなく、本格的に。現実的に。

今まで開講してきた講座を一覧にすると、

◆**アメリカバスケ旅** (2015 年 7 月に開講。大学生の時にバスケをするためにアメリカを旅行した 10 日間を物語風にまとめたメルマガ)

◆**SpaceMagic** (2015 年 9 月に開講。NBA 選手から学べるスパーシングを深めた講座)

◆**新世界バスケットボール** (2016 年 10 月に開講。発信仲間の慎さんと一緒に、武術を軸に NBA と日本のバスケを統合させることを目指して運営)

◆**スラムダンク神話** (2017 年 3 月に開講。映画や漫画のもとになっている「神話の法則」という物語のパターンを通して、人生に通じるストーリー作りについて深めた講座。漫画『スラムダンク』の三井寿の物語や安西先生の言葉やストーリーを日常に活かすことを目指して運営)

◆**賢者バスケ** (2017 年 10 月に開講。新世界バスケットボールで知り合った大学時代の対戦相手を学生兼監督という立場でコーチしていた「ツル」というニックネームのバスケットマンと始めたコミュニティ。Princeton Offense というシステムを軸に、身体能力や練習量で勝る相手に負けない「賢者のバスケ」を目指して運営)

◆**賢者籠球** (2017 年 12 月に開講。賢者バスケをより深く学んでいくコミュニティ。発信仲間のツルが Princeton Offense を指導している練習風景を中心に、Princeton Offense を「守破離」することで「形に囚われないバスケットボール」を目指して運営。2018 年 9 月に第一章「賢者は強者に優る」が一旦の完成を迎え、2019 年 2 月から第二章「賢魂強才」が始まり、現在も第二章を運営中。第二章では「Princeton Offense」という形を取り払い、「講師の鶴自身を守破離する」というコンセプトのもと、鶴が初めてメルマガを書き、鶴がメインで講座を運営しながら賢者籠球というバスケットボールを深めています)

◆**NEXTINNOVATION** (2018 年 3 月に開講。情報発信をテーマにしたコミュニティ。インターネットビジネス、これからの時代についてなど、僕が情報発信を通して学んだことをメルマガにした講座。講座名の NEXTINNOVATION とは情報発信を知るきっかけの一つになったドラマ『リッチマン、プアウーマン』の中に出てくる IT 企業の名前)

◆**からくり物語** (2019 年 5 月に開講。二年前に運営していた『スラムダンク神話』を再構築する形で、ストーリーテリングや人生について深めている講座。グローバル化が進む現代において「日本」について学ぶことが少ないことから、情報発信を通して学んでいる日本についての知識や物語の視点を映画『千と千尋の神隠し』のストーリーと掛け合わせて配信)

◆**大和籠球** (2019 年 12 月に開講。今まで学んできたことを全て含めた講座であり、コミュニティ)

という感じになります。

中には、知らないものもあるかもしれませんが、
今までの八年間で開講してきた講座は9個になります。
※ほとんどの講座は今は募集を停止しています

僕が情報発信を始めた八年前から、今でも発信を受け取ってくれている方もいるし、
たまたま Twitter とかブログの記事を見て、コミュニティに参加してくれた方もいるし、

今一緒に活動をしている発信仲間も、
これらのコミュニティから繋がった縁なので、
本当に沢山の方と関わられて、有難い限りです。

これらの講座一つひとつが、
高校でいうところの「授業」であって、
大学でいうところの「学科」というイメージです。

「バスケットボール学部」の中にある
「武術学科」であったり、「ストーリー学科」であったり、
「賢者籠球学科」であったり、「情報発信学部」であったり。

今、改めてこうやって振り返ると、
八年間で様々なことをしてきたなと思います。

ただ、最初にも話した通り、
今の視点で、過去の講座を振り返ると、
まだまだ足りなかったなと思う部分もたくさんあるし、
人生を賭けて本気で「ネット上に、バスケの学校を作る」ということにコミットできていたか
というと、まだまだ足りない部分があったように思います。

今思えば。

そうであるなら、そのことを隠すんじゃなくて認めて、素直にお伝えして、

それを踏まえて、「ネット上に、バスケの学校を作る」ということに本気で向き合っている今、そこに向かって過去の講座を再構築し、現在運営している講座を運営していく必要があるのではないか
と思っています。

もちろん、過去の講座にもエネルギーを注いできました。
一つひとつの講座で、その時の自分ができる精一杯のことをしてきて、
参加してくれた皆さんと一緒に成長することを目指してやってきました。

ただ、今から振り返ると、もっとできることがあったように思えるのです。

僕は今、「大和籠球」というコミュニティを始めました。

現在進行形で運営しています。
(それと「賢者籠球の第二章」も運営しています)

その中では、僕が学んできた武術の視点を
「ピボットジャブ」という技術に落とし込んで解説をしているのですが、
メルマガを書いているうちに、武術の視点だけで完結するものではないと思えてきて、
賢者籠球の視点も、物語の視点も、僕の日常も、全てを含めた発信という形になっています。

もともと、そういうものとして始めたわけなのですが、
ただ、案内文がコンテンツ重視の書き方になっていたので、
そういった部分まで伝えきれていなかったように感じています。

なので、改めて、今のビジョンを踏まえて、
もう一度、募集をしようかなという気持ちがあります。

大和籠球もそうですし、過去の講座も再構築して今の視点からお伝えしたい。

そう思う自分がいるので、大変失礼なことは承知していますが、
改めて、大和籠球だったり、過去の講座を学べる機会を作りたいと思います。

それと、学生の参加についても考えました。

ネット上にバスケの学校を作るために、
この活動を質の高いものにして継続していくためには、
やっぱり、お金というものも関わってきます。

当然、ガラガラと自分を見せつけるネットビジネスをするつもりはないわけですが、
質の高い場をつくって、一つのゴールにコミットしてもらうためにもお金を払ってもらうことは大事だと思っていますし、
運営している僕自身、プロの意識をもって発信をしていくことを前提として、ビジネスとして情報発信と向き合っています。

つまり、情報発信でお金を稼ぐ、
情報発信を仕事にしていくということです。

ただ、それは豪勢な生活をしたいからとかではないし、
「お金を取る、取られる」みたいな関係になりたいわけでもなくて、
この活動を充実させて、「ネット上にバスケの学校を作る」ことを実現するために、です。

最初に話した通り、僕が情報発信を知った頃は、
「ネットでお金を稼いで自由な生活をして、海外で好き放題バスケをするんだ！」
という理想を追いかけていました。

そのために、お金を稼ぎたいと思っていました。
言葉にするのも恥ずかしいですが、本当に思っていたことです。

でも、それから僕は、
プロのバスケットチームに参加する経験をして、
「バスケットボールで飯を食っていくというのは、どういうことなのか？」
を自分の目で見て知りました。

大学生の頃はわからなかったですが、
この世界で、価値がどのように循環していて、
お金がどのように循環しているかを知りました。

僕は今、プロになりたいと思っています。

になりたいというよりも、なると決めてます。

「バスケットボールで飯を食っていく」ということは、
ただただ、自分の好きなことを好きなようにしてればいいわけではないのだと思います。

もちろん、バスケが好きで、
「もっと上手になりたい！」っていう個人の欲があって、
そこに向かって楽しむことが見ている人たちを楽しむことになるので、
自分がやりたいことに素直になることは必要なことだと思っています。

プロ選手の皆さんはそうであると思うし、そういう人がプロ選手なのだと思います。

そして、僕自身も、自分でプレーしていることや学んでいることを情報発信して、
そのことでお金を稼いでいるわけなので、プロであることには変わりありません。

バスケの上手い下手関係なく。

僕はバスケの学校を作りたいですが、
校長室で座って「調子はどうだい？」と
学校を管理するとか、まとめるとか、
そういうことをしたいわけではありません。

僕はいつまでもプレイヤーとしてバスケをプレーしたいし、
今でも下手だから、もっと上手になりたいなと思ってます。

そこをこれからも目指します。

ただ、そこで学べたことを
情報発信で共有していくことも、
僕がやっていくべきことだと思っています。

それも、やりたいことでもあるし、やるべきことだと思っています。

それが結果として、
「ネット上に、バスケの学校を作る」
ことに繋がるようにしていきます。

僕は今、プロバスケットチームで働いています。
選手ではないですが、小学生を教えるコーチとして関わっていて、
プロチームの練習に参加させてもらっていた見習いの頃、今から五年前に感じていた「プロ」という意識と
今感じている「プロ」という意識は大きく違います。

五年前は、ただ自分をもっと上手になりたいというだけで、
その自分の環境に、どれだけの人が、どれだけの苦労や想いをかけて関わっているのか？
については考えていませんでした。

今は、そういうことを思います。

僕は、この情報発信で
「ネット上に、バスケの学校を作る」ために、
誰でも気軽に参加してバスケを学べる場を創って、
バスケ以外の分野も楽しみながら学べる場を創って、
そして、リアルでの勉強会も開催していくことを目指していきます。

・・・と、今ちょうど、
一通の返信をいただきました。

この記事を書いている途中で。

55歳でミニバスや中学生の指導をしている方から、
今運営中のコミュニティ「大和籠球」で返信をもらいました。

「ああ、この瞬間のために情報発信をしてるんだなあ自分は。」
と思える瞬間です。

本当に有り難いですし、
ネットがあるからこそですね。

返信を読ませていただくと、
前から発信を受け取ってくれていたみたいで、
賢者籠球で深めている Princeton Offense の情報を探していたら、
僕のブログに辿り着いたとのことでした。

返信してくれた方も勉強会に参加したいとおっしゃってくれているので、
僕も勉強会でお会いするのがとても楽しみです。

そんなわけで、

ネット上に、バスケの学校を作る

ということを実現するために、
これからも情報発信をしていきます。

僕が情報発信を始めたきっかけは、
「ネットビジネス」という世界を知ったことで、
この情報発信も、ビジネスとして運営していきます。
つまり、ぼらんていとしてではなく、お金も絡んでくるということです。

ただ、ビジネスという枠組みで、
「これだけの価値を与えたんだから、これだけもらえて当然だろう」
みたいなギスギスした、お互いに奪い合うような関係にはなりたくなくて、
お互いに、自分がもっているものを提供し合って、一緒にバスケを面白くしていくという関係で、
僕の活動に対して、「面白いな」「学びたいな」と思うものがあれば参加してもらえたらなと思います。

そして、いつか一緒にバスケをしましょう。

具体的に、
「ネット上に、バスケの学校を作る」
を実現するためのことを、
2020 年やっていこうと思います。

今まで運営してきた講座も一新することも考えています。
また、現在運営している賢者籠球も含めて、再募集もやっていきます。

今は、「大和籠球」という講座で、
僕が三年くらい前から学んできて、ここ一年で本格的に学んだ
「武術」という世界をバスケに応用した技術を中心に深めています。
これについても、改めて案内文を出そうかなと思っています。
年内いっぱい、もう一度募集をするかもしれません。
(すでに配信されているコンテンツは後追いで学べるようにしたいと思います)

また、高校生以下のコミュニティも作りたいなあと思っていて、
無料で参加できて、定期的にメルマガで動画とかメールを送るものです。

これは、どうしていけばいいかなあと思っていたんですが、
そういえば、僕個人の「公式メルマガ」的なものがなかったので、
高校生以下の学生や僕のことを初めて知る人には、そちらに登録してもらえたらと思います。
(大学生は大人になる一歩手前ということで大人扱いにさせてもらっていますが、今のところ、です)

今、過去に僕の講座やメルマガに一つでも登録してたことがある方を
公式メルマガに登録させていただいて、先ほど、皆さんの情報を整理し終わりました。

今現在は、2380 人が登録してくれています。

今まで、新しい企画の案内とかを
過去の講座、一つひとつにしてきたりしたので、
結構、手間がかかってメルマガ送るのが遅くなったり、
人によっては同じような案内を何回も送ってしまっていたんですよね。

それに、過去の講座で学んでいた人たちには、
今の僕の活動を知ってもらいたいということもあったので、

今回、2020 年が始まる前のタイミングで、公式メルマガにこちらで登録させていただきました。
※必要ない方のためにメルマガの解除 URL はお送りします。

そんなわけで、公式メルマガは以下から登録できます。

[原田毅 公式メルマガ](#)

また今後のことは記事やメルマガで連絡します。

自分が情熱をもてるバスケットをプレーする事と情報発信を突き詰めていきます！